

公開シンポジウム

AI時代、 未来は誰にとって公平か？

—高校生と考えるジェンダー・マイノリティ・進路

2026. **9.19** (土) 13:00~16:30

オンライン開催 (zoom)

【参加費】

無料 (事前申込制)

【対 象】

高校生・保護者・教員・一般

【お申込】

要参加登録 (無料)、定員1,000名

裏面のQRコードまたはURLから、お申込みください

(申込締切：9月12日 (土)、定員になり次第締切)



主催

日本学術会議 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会／科学者委員会 ジェンダー・エクイティ分科会／法学委員会 社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会／健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会

共催

早稲田大学規範科学総合研究所、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、科学技術振興機構 (JST)

後援

日本生命科学アカデミー、一般社団法人男女共同参画学協会連絡会、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS)、教育関連学会連絡協議会、日本学術振興会 (JSPS)、早稲田大学ダイバーシティ推進室

公開シンポジウム

AI時代、未来は誰にとって公平か？

—高校生と考えるジェンダー・マイノリティ・進路—

生成AIの急速な普及により、私たちの学びや進路選択、社会参加のあり方は大きく変化しつつあります。一方で、AIは既存社会の価値観や偏見を学習するため、ジェンダーやマイノリティに対するバイアスを再生産・増幅する可能性も指摘されています。とりわけ高校生の進路選択や教育現場において、AIが助言や意思決定に関わる機会が増えるなか、「公平な進路」とは何かを改めて問い直す必要があります。

本シンポジウムでは、AI社会を俯瞰する研究者、教育実践者、政策・ジェンダー研究の専門家とともに、高校生・教員を主な対象として、AI時代の公正さと市民教育のあり方について考えます。誰も取り残さない未来を実現するために、今私たちに求められる視点と行動を議論します。

■ お申込みはこちらから ■

右記QRコードまたは下記URLから、お申込みください。

申込締切：9月12日（土） ※定員になり次第締切

<https://forms.gle/SHLR3qbwPCJhZZ6F7>



プログラム

- 13:00 **開会挨拶**
樋田 京子（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院歯学研究科・教授）
- 13:05 **趣旨説明**
坂内 博子（日本学術会議連携会員／早稲田大学理工学術院・教授）
- **第一部 AI時代をどう生きる？－AIと公平性(fairness)を考える**
- 13:15 **AIは中立か？－進路を選ぶときのつきあい方－**
森田 久美子（NPO法人Waffle・ディレクター）
- 13:35 **質疑応答**
- 13:55 **（休憩）**
- **第二部 公正なキャリア形成に向けて－AI時代のバイアス**
- 14:10 **キャリア選択とステレオタイプ－公正な社会を実現する手段とは？**
三浦 まり（日本学術会議連携会員／上智大学大学院法学部・教授）
- 14:30 **AIは「公平」ではないが、その原因は私たちかもしれない**
－公平性(fairness)と社会のルールを考える
佐倉 統（実践女子大学人間社会学部・教授／東京大学・名誉教授）
- 14:50 **AI研究は誰がつくるのか？－ダイバーシティが公正な未来を左右する**
伊藤 貴之（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科・教授）
- 15:10 **（休憩）**
- **第三部 総合討論**
- 15:25 **AI時代に、公正な未来はつくれるか？－「自分らしい進路」を守るために**
モデレーター：來田 享子（日本学術会議連携会員／中京大学スポーツ科学部・教授）・坂内博子
登壇者：行木 陽子（中央大学商学部・特任教授／㈱足利銀行・社外取締役／㈱平和堂・社外取締役）
第一部、第二部の登壇者
- 16:25 **閉会挨拶**
竹山 春子（日本学術会議第二部会員／早稲田大学理工学術院・教授）

お問合せ

早稲田大学理工学術院 坂内博子

hiroko.bannai * waseda.jp （送信の際は * を@に変更してください。）